

高美台の歩道フラット化（バリアフリー）

○人が中心の「まち」歩きやすい歩道の整備として、歩道をフラットに。

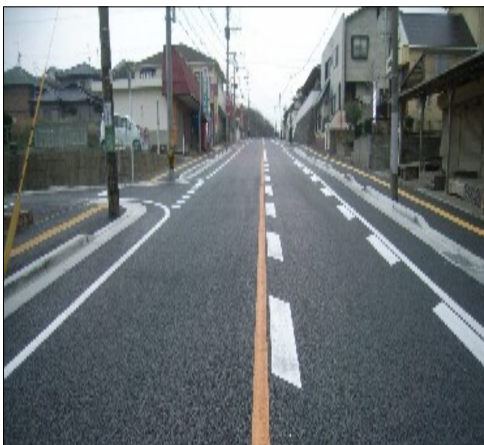
○美和台の歩道フラット化に続き、

高美台の歩道フラット化の実施。

○美和台では、三苦駅前から、旧3号線入口まで。

○高美台では、一丁目三号線入口から四丁目トライアル付近まで予定。

フラット化された美和台3・4丁目道路



現在の高美台3丁目道路



今林ひであき
（自民党）市政報告

【発行者】

福岡市東区
塩浜一丁目16-25
今林ひであき事務所
TEL. 092-605-6515



○歩道のフラット化とは、福岡市が進める人にやさしい、人が中心の「まち」づくりとして、H14年より進めている政策。

○美和台地域では、平成18年から、福岡市のモデル地区として、メイン道路に限ったの予算措置となり、約5年計画で進行。（予定より長期間になりました）

○美和台校区での地域皆様の「好評価」を得られたことから、

○今回、高美台地域でもメイン道路を中心に実施される運びとなりました。

○美和台・和白東校区が選ばれた背景には、地元自治協議会の熱心な要望活動によるものです。何年も前からの活動がようやく実を結んだ結果であり、関係各位に敬意を表します。

歩道フラット化とは

○歩道フラット化とは、歩道と車道の段差をなくして、バリアフリー化するもので、国でも予算化。

○車社会・高齢社会が進み、歩道を歩く人が少なくなりました。

○歩きやすい・やさしい歩道整備は、高齢者の外出を促し、元気高齢者づくりだけでなく、

昔のように、道端で挨拶をかわす姿・風景の復活により、地域の活性化につながります。

○アイランドシティに青果市場が開設され、雁ノ巣方面から、4t車などの往来。交通安全が心配です。

○奈多・雁ノ巣では歩道の拡幅計画があり、美和台・高美台では、フラット化が必要です。

旧 美和台3・4丁目道路



新 美和台3・4丁目道路



○樹木が大きくなりすぎて、

車いすが通れなくなつた。

美和台校区は苦渋の判断

樹木を移植したくとも、

市の基準で移植を断念。

（樹木の幹回り60cm以上は移植不可）

○道路幅が異なると自動車

事故も心配、道路幅を

同じにするなど試行錯誤

の連続。

（三苦駅からのすぐの登・下坂付近）

○坂道が多いメイン道路

から始めて、

将来、枝葉のように

生活道路に広げていく。

（モデル地区で「良」判断となれば

時間はかかりますが、地域の細か

な生活道路に広がります。）